

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- 2 一問一答方式

質問件名 第四小学校に設置する自閉症・情緒障害特別支援学級に関して、特に全学年で通学バスを

質問要旨

令和 3 年 9 月 30 日の小平市議会で、自閉症・情緒障害特別支援学級(以下、情緒固定級と呼ぶ。)の設置を求める請願(第 8 号)が、359 名分の署名とともに採決に付され、賛成多数により採択された。その後、教育委員会内で検討が進み、本年 8 月 16 日、小平第四小学校に情緒固定級を設置することが庁内で意思決定された。なお、その決定に先立ち、情緒固定級の利用を検討している児童・生徒の保護者等の 25 名で構成された市民団体(まんまる会)から、スクールバス運行についての要望書が、同 6 月 28 日付けで、教育委員会へ提出されている。

情緒固定級は、定員が 8 名、教育課程は通常学級の教育課程を基本とし、本人や保護者の意向に基づいて入級できる学級である。また、他の自治体では、情緒固定級に在籍しながら、一部の授業を常に通常学級で受けているという事例もある。

通常学級での学びに困難を感じる子どもたちにとって、有望な選択肢のひとつとして期待が高まっている。当初からできる限り理想的な形でスタートしていただきたく、以下質問する。

1. 本年 8 月 23 日に行われた生活文教委員会の事務報告で、教育部長から、先行実施している市の視察を行い、意見聴取してきたとの報告があった。具体的に、いつ、どの自治体に視察や意見聴取を行い、それぞれどのような形で庁内に情報共有を行ったか。
2. 同報告の資料で、情緒固定級設置校の要件として「極力、市の中心部で、最寄駅から徒歩 10 分程度に位置しており、市内全域からの通学の負担が少ないこと」が挙げられている。しかし、第四小学校は最寄りの一橋学園駅まで 1km ほどあり、児童の歩行速度では 30 分程度かかる可能性もある。この点はどのように考えて決定したか。
3. 市民団体(まんまる会)から提出されているスクールバス運行についての要望書でも、他市の事例と比較して検討がなされているように、小平市は東西に長く、交通の便を考えると、国分寺市のように、全学年でスクールバスが必要になると思うが、どうか。
4. スクールバスを走らせることになった場合、その情報についての公開は大体いつ頃になると考えるか。
5. まず小平第四小学校に在籍する児童の保護者とその地域住民に対して説明がなされる予定だが、それ以外の入級希望者も参加可能にしてほしいという声があるが、どうか。
6. 説明会と同時に校内見学会を行ってはどうか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

令和 4 年 8 月 29 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 安竹 洋平

受付番号【 】
